

基礎スペイン語Ⅳ

科目ナンバリング SPA-104

必修 1単位

江原 裕美

1. 授業の概要(ねらい)

スペイン語はスペイン並びに中南米の多くの国で通用し、近年はアメリカ合衆国の中でも多く用いられている。この言語の魅力を知り、その文化の一端に触れることは、私たちの世界観を広げてくれる。この授業では、スペイン語のアルファベットから始まり、複雑な文法知識もわかりやすく一つ一つ丁寧に進めつつ、折に触れて出来事や文化も紹介してみたい。スペイン語文化圏への第一歩を踏み出す一助としてほしい。

なお、後期は基礎スペイン語IIと基礎スペイン語IVがそれぞれ週1回ずつ開講されるが、内容は連続している。すなわち週2回でワンセットになっているので注意すること。遅刻欠席しないこと、授業に集中することがもっとも重要である。

2. 授業の到達目標

日常最低限の必要性を満たすことができる力を獲得することを目指す。具体的には以下のような目標を達成する。①スペイン語の文法的基礎を身につける、②スペイン語の簡単な文を音読でき、意味を理解する、③自分と家族、日常生活などを他者に紹介でき、簡単な手紙やメールを書ける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への参加、提出物等)で30%、試験で70%。第1回目の授業は必ず出席すること。

授業の完全な受講を最優先し、欠席遅刻しないこと。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

欠席数と遅刻換算数の合計欠席数が授業時数の3分の1を超えた場合テストを受験できない。授業時は教科書、辞書を持参すること。

基礎スペイン語IIとIVは連続した科目なので両科目を通じて全体的に評価する。両科目を通じての中間テストと期末テストを1回ずつ行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

スペイン語教材研究会 『Entre amigos 1(総合スペイン語コース 初級)』 朝日出版社

スペイン語教材研究会 『Entre amigos 2(総合スペイン語コース 中級)』 朝日出版社

参考文献

現代スペイン語辞典 白水社

クラウン西和辞典 三省堂

和西辞典 白水社

5. 準備学修の内容

授業前には例文のわからない単語を辞書で引いて調べ、音読をしてみる。授業後は学習したところを20回音読して暗記に努めること。

後期の途中で新教科書に切り替わるので後期初めに新教科書を購入しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

どの形態であれ、全授業の受講が最優先である。力をつけるためには毎回の授業の予習復習と暗記を欠かさずしてほしい。評価のためのテストはII,IVを通じて2回。両科目を通じての中間テストと期末テストを1回ずつ行う。課題提出や小テストは随時実施する。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方、テキスト、評価方法など。 前期の復習。
- 【第2回】 直接目的人称代名詞の復習
ver, saber, conocer の復習 助動詞(saber, poder, querer)の用法の復習
- 【第3回】 前置詞の後の人称代名詞 間接目的人称代名詞
dar, traer, decir の練習
- 【第4回】 比較表現表現I 形容詞の比較
不規則な比較級を持つ形容詞 最上級
- 【第5回】 動詞Gustar Gustar型動詞
比較表現II 副詞の比較
- 【第6回】 動詞dolerについて estar II 体の部分の名称
ser + 形容詞 estar + 形容詞 LMS(予定)
- 【第7回】 中間テスト範囲についてこれまでのまとめと復習
- 【第8回】 感嘆文 tener que + 不定詞
hay que + 不定詞 不定詞と否定語
- 【第9回】 直説法点過去 規則活用と不規則活用
- 【第10回】 直説法点過去 規則活用と不規則活用の復習
所有詞後置形の使用法
- 【第11回】 時を表す副詞表現
直説法線過去 規則活用と不規則活用 命令文の紹介
- 【第12回】 直説法線過去 規則活用と不規則活用の復習
関係代名詞のque 不定形とその用法(現在完了、進行形) 未来形の紹介
- 【第13回】 新教科書 Unidad 1--Unidad 2 これまでの復習
- 【第14回】 新教科書 Unidad 3-4 これまでの復習
- 【第15回】 期末テスト 復習とまとめ